



ロータリー:
変化をもたらす

国際ロータリークラブ第2780地区
茅ヶ崎中央ロータリークラブ



2017年11月28日(火) 第1615回 昼例会 週報担当 クラブ広報委員会

◇「場所」: ルアンビル5F 「本日の歌唱」: 四つのテスト

◇「会長挨拶 (赤間副会長)」

本日は会長がお休みの為会長挨拶を依頼されました。

大晦日についてのお話をしますが旧暦の30日は月が見えない暗闇で12月31日の大晦日はおおつごもりと読みます。そして1年を振り返り心の大掃除をする為に除夜の鐘で煩惱を取り除きます。煩惱とは三毒という克服すべきものとされる最も根本的な三つの煩惱すなわち貪・瞋・癡(とん・じん・ち)を指し煩惱を毒と例えたものです。

数えると108個あるといわれる煩惱を取り除くのは難しいと思いますが皆様もこの事を考えて除夜の鐘を聞いてみて下さい。

本日はロータリー財団のお話という事で堀川会員にお話しをお願いしております。

どうぞ宜しくお願い致します。



副会長 赤間 浩正



幹事 野崎 幸夫



ソングリーダー 一杉会員



大村委員長より新春風揚げの案内



嵯峨野委員長より年次総会の案内



本日は堀川会員によるロータリー財団のお話でした。

ロータリー財団の年間120万人から集めた約80億のお金の流れについてご説明頂きました。

特に印象的だったのは『ロータリーは公平であるべき』で世界中から集めたお金の使われ方を明確にするというのがロータリーではないかと思う、という事でした。

また、お話の冒頭に仰られた、今回の話も本来は新会員または若い会員に聞いてもらいたい。

今後のクラブを思うと次の世代に思いをバトンタッチしたいという堀川会員の熱意が伝わり自身も携わり方を考えさせられるお話を頂きました。